


大山町議会議長 野口俊明様

大山町議会議員 圓岡伸夫 

平成28年大山町議会議員研修報告書

1	日時	平成28年11月7日(月)～8日(火)	
2	研修地	全国市町村国際文化研修所(JIAM) 滋賀県大津市	
3	研修内容	(内容)	(場所)
		(1) 地方自治の現状と議会改革の動向	国際文化研修所
		(2) 議会改革の進め方	国際文化研修所
		(3) 住民参加・情報公開を進める取り組み	国際文化研修所
		(4) 各議会における今後の議会改革推進の検討	国際文化研修所
		(5) 今後の議会改革の進め方	国際文化研修所
4	研修結果 又は概要 (意見・感想)	<p>(1) 地方自治の現状と議会改革の動向 講師 北川 正恭 (きたがわ まさやす) 元三重県知事。早稲田大学名誉教授</p> <p>国に気に入られる様に地方創生をすることは失敗する可能性がある。 首長・執行部は法律と条例に基づいて行う。 民意の反映をするのが議会。→「地方は議会が変える」 18歳、19歳の人権が認められた。→選挙権 割りきれないところを、どう割り切るのが政治である。 60年日米安保 「現実に合う政治」 1995 地方分権推進法 2000 地方分権一括法 国の顔色ばかりをうかがう「ヒラメ人間」を作ることになった。 地方政府を←自治・行政権の確立 ヒモ付き補助金 財政権・自治立法権 追認議会 自ら地方を創生するとは「地域の宝を磨く」 多数決=最悪(チャーチル) 議会の権能が増す 緊張感のある議会 議会全体でこういう事をやっていますということをしなければ、議会 不要論はなくなる。</p> <p>生北川先生を見ただけで感激した。議会改革は必要だけでも、一人 ではできないし、多数の議員の意識が変わらなければ、できないと思っ た。</p>	

(2) 議会改革の進め方

講師 中村 健 (なかむら けん)

早稲田大学マニフェスト研究所事務局長

開かれた議会とは、①情報公開

②住民参加

と議会機能の強化

昭和 60 年官から民へ、2007 年財政健全化法。2014 年地方創生法
2009 年から・しくみとして機能しているか。・住民と共に取り組んで
いるか。・政策を生み出す仕組みが整っているか。

団体自治 国・県・市町村

◎/住民自治

活動の成果を上げる→行動が変わる→計画が変わる→検討方法が変
わる。

議論が深まらない原因

- ・無言の圧力 (他の議員の顔色や態度)
- ・時間の制限
- ・最初から結論が決まっている。
- ・テーマから外れた。
- ・ディスカッション・ディベート・ミーティング・トーキング

ダイアログボックス

意見交換することによって「共通理解を探し出すこと」

東近江市 QRコード

追跡 一般質問 その後どうなった。

プロセス なぜその結論になったのか。

誰に 基本は対話。変化に対応する。

小諸市の開票。府中市 24 万人の開票が 34 分で終わる。

ようは本気になってやるかどうか。

1 時間の会議なら

現状 15 分 要因 15 分 解決策 20 分 結論 10 分 計 60 分

タイムキーパーが重要である。

理論は J I AM。実践をどう結びつけるか。

離れたところから俯瞰してみる。

地域の課題を解決する。現状の課題を解決する。

何のために議会を改革するのか。

- ・福祉の向上・わかりやすく・次世代のため

住民の福祉の向上

- ・幸福度の向上とは持続可能な地域
地域を経営する。<マネジメント>

経営とは 経（行き先を照らす） 営（実行する）

現在に対し、達成したい期日と実現したい状態にはギャップがある。

- ・何を実現したいのか。いつまでに実現したいのか。

- ・総合計画とは
- ・将来の負担は
- ・地域にとって有益か
- ・人数、時間、組織的は効果的か
- ・住民ニーズを把握しているか。

解決したい課題→分析、計画、戦略（PLAN）→インプット（DO）
→アウトプット（CHECK）→アウトカム（CHECK）→改善（ACTION）

インプット 資源投入量

アウトプット 量的変化

アウトカム 質的变化

K P I

これまでは「これだけ仕事をやりました」→「これだけ成果が上がりました」

街路灯 3カ所→予算は 1カ所分 どうやって決めるか。

- ①現場確認
- ②現場の声を聴く
その上で判断する。

小諸もろもろマップ

変化－成果－成長 久慈市 対話を大切にする。

「何を大切にするか」

不易流行 【いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものをも取り入れていくこと。】

よきことはカタツムリのごとく進む ガンジー

(4) 各議会における今後の議会改革推進の検討

議会だよりをどう改革するかを各班に分かれて議論しました。

町村と市議会に分かれて議論しましたが、市議会パワーに圧倒されて今いました。「議会だよりだいせん」はそれなりに有名だと思っ
ていましたが、まったく通じませんでした。各自治体がそれなりに問題を抱え
集まっていたのですが、一人ひとりに「議会改革」に対する熱意を感じま
した。しかし、多数を占めないと改革はできない。そこに壁を感じまし
た。

(5) まとめ

--	--	--